



短期集中リハビリ入院のご案内

# 日常生活でお困りの方は 短期間の入院で リハビリを行えます

当院の一般病棟では、短期集中リハビリ入院を行っております。  
日常生活の中で以下のようなお困りのことがございましたら、  
一度ご相談ください。

このようなことでお困りではありませんか？

片麻痺で  
手足がつっぱる

食事中や食事後に  
咳が多い

パーキンソン病で  
歩幅が小さく  
なってきた

## 短期集中リハビリ入院メニュー

反復経頭蓋磁気刺激療法  
(rTMS療法)

パーキンソン病のリハビリ  
(LSVT)

ボツリヌス療法

呼吸リハビリ

摂食嚥下リハビリ

※上記リハビリを行うには対象判断の検討や介護認定の確認が必要です。

## 当院の短期集中リハビリ入院でできること

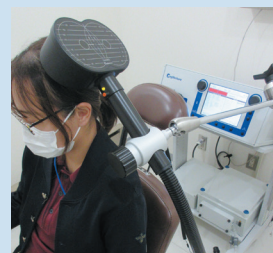
### ボツリヌス療法

脳卒中後遺症の手足のつっぱりにより日常生活に支障を感じている方  
ボツリヌス注射施行後2～3週間程度入院しリハビリと自主練習を行っていただきます。



### 反復経頭蓋 磁気刺激療法 (rTMS療法)

脳卒中後遺症により軽度から中等度の手の麻痺の改善を希望される方  
2週間の入院で1日2回反復経頭蓋磁気刺激を行い、その他の時間はリハビリと自主練習を行っていただきます。



### パーキンソン病の リハビリ (LSVT)

パーキンソン病により歩幅が小さくなったり、立ち上がりにくさを感じている方、声が小さくなってきている方  
4週間の入院でリハビリと自主練習を行っていただきます。  
LSVTその他のパーキンソン病のリハビリにも対応します。

### 呼吸リハビリ

脳卒慢性閉塞性肺疾患や間質性などで息切れや耐久性低下により日常生活に支障を感じている方  
2週間程度の入院で、運動療法や呼吸法、ストレッチなどの自主練習を行います。

### 摂食嚥下 リハビリ

飲み込みの力が落ちてきて、激しいムセや発熱などがみられる方  
1週間程度の入院で嚥下の検査を行い、安全な食事形態や姿勢等を確認し情報提供いたします。

●お問い合わせ先



社会医療法人平成醫塾

苦小牧東病院

地域連携室

TEL.0144-55-8811